Shareholder's Memo

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 TEL:0120-094-777（通話料無料）
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第二部

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月（シヅキ）』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。

株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867　兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821　FAX:0798-73-0807
URL　www.shizuki.co.jp

VEGETABLE OIL INK

株主通信

第89期　第2四半期報告書
平成28年4月1日～平成28年9月30日

メッセージ

次世代商品に向けた、新素材を。村田製作所との連携を強め、新たな事業を本格始動。

特集：シヅキのツヅキ

工場・ものづくり

シヅキ

証券コード 6994／東証二部

株式会社 指月電機製作所

AIM2018事業領域の11ドメイン

今回の主なトピックス

村田製作所と資本業務提携

村田製作所と指月電機製作所、両社の技術を融合させ共同開発した新素材は、電気自動車をはじめこれから大きな需要が期待されます。

タイ指月10周年に向けて、さらなる躍進へ

タイ指月は、2007年4月に操業を開始しました。来年で10周年を迎えます。工場はバンコクのバンチャン工業団地にあり、現在、約120名の従業員が働いています。

→ 詳しくはP7-P8をご覧ください

事業セグメント

●コンデンサ･モジュール　●電力機器システム
●情報機器システム

電気をマネジメントするさまざまな商品を開発･生産して、お客様に提供し、社会に貢献する。

指月総合マネジメントシステム
∫IΣS（シムス）

社員一人ひとりが「品質･コスト･納期」という経済的視点や、「再利用･負荷の減少･エネルギーの再生」という環境的視点を持ち、業務に取り組む。

強みを伸ばすことで、現状を打破し、次なる成長への一歩を。

日本国内では、個人消費の回復が見られる一方で、企業の設備投資は依然として弱含みの基調が続いています。海外に目を向けると、世界的な資源価格の下落により景気は減速し、不透明感が一段と強まっています。このような状況のなか、シヅキでは受注と売上の確保、原価低減活動に努めてまいりましたが、電力機器システムの高採算商品を中心に売上が前年を下回り、第89期第2四半期の連結売上高は、前年同期比で5.6%の減少となりました。

私たちが、電力機器システムのセグメントで扱っている「瞬時電圧低下補償装置」や「力率改善装置」は、コンデンサのことを熟知されたお客様に対して製造･販売を行う場合とは趣が異なり、最終商品を直接ユーザー様にご提案するかたちをとります。このため、お客様に商品の魅力とソリューションを効果的にPRする必要がありながらも、長年コンデンサという一見目には触れない部品を事業の主軸としてきた私たちには、最終商品の販促におけるノウハウがまだ十分とは言えず、こうした弱みを補っていくことが、課題のひとつであると感じています。

一方で、現状を打破するためには、我々がもともと持っている強みをさらに伸ばしていく努力が重要であると考えております。その取り組みの象徴とも言えるのが、株式会社村田製作所との資本業務提携（詳しくはP3-4、P8をご覧ください）。信頼のおけるパートナーとともに新たな一歩を踏み出した今、数年先を見据えて、大きな可能性を育んでいく所存です。

代表執行役社長　伊藤　薫

中長期経営計画 AIM2018 売上高実績と計画

Message
メッセージ

次世代商品に向けた、新素材を。村田製作所との連携を強め、新たな事業を本格始動。

お互いの強みを、活かす道を探して。村田製作所との協業の歩み。

2016年9月、私たち指月電機製作所は、村田製作所と資本業務提携を結びました。両社のパートナーシップは一朝一夕に生まれたものではなく、長い時間をかけて育まれてきたものです。特に2008年からは、新しい素材の開発にともに取り組む協業関係にありました。

シヅキはフィルムコンデンサ技術において、国内トップクラスの歴史と実績を誇り、70年以上にわたりその技術を磨いてきました。ですから私たちは、フィルムであればかなり幅広い素材に対応し、高品質な加工を施せる技術とノウハウを持っています。しかし、素材メーカーではないため、フィルムそのものを自社でつくることはできません。フィルムコンデンサをつくる技術をどれほど突き詰めても、新しい素材が登場しなければ、その真価を十分に発揮することが難しい。そんな課題を感じていた矢先に持ち上がったのが、村田製作所との新素材の共同開発の話だったのです。

セラミックコンデンサ技術において圧倒的な強みを持つ村田製作所は、原材料を自社で選り分け、化学的な知見にもとづいてセラミックという素材そのものを一からつくりあげて、グローバル市場のなかで大きな競争力を発揮しています。

両社がお互いの強みを活かし、村田製作所が持つ「原材料から素材を生み出す技術」と、シヅキが持つ「素材を高精度に加工する技術」をかけ合わせることで相乗効果を生み出していく。お互いの目的と想いがうまく適合して、生まれた協業関係でした。

本格的な事業化へ向け、2016年10月、合弁会社をスタート。

本格的な事業化に向け、工場や事業所を準備していくうえで、両社の共同出資による合弁会社の設立を決定。村田製作所と資本業務提携契約を締結した翌月にあたる2016年10月、株式会社村田指月FCソリューションズが新たなスタートを切りました。

販売・マーケティングにおいても、お互いの強みを活かした拡販を。

村田製作所は、ヨーロッパの自動車産業などをはじめ、海外マーケットにおいて、ゆたかな販路を持っています。一方で、シヅキには、フィルムコンデンサの分野で長年信頼関係を培ってきたお客様がいます。技術面だけでなく販促活動の面でもお互いの強みを活かし、新たな素材を、新たなビジネスへと発展させていく所存です。

株主の皆様におかれましては、私たちの取り組みにご理解をいただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

シヅキのツヅキ

シヅキから旅立ち、
社会を支える商品たち

vol.7

工場が進化するほど、電気のコントロールが重要に!
高度なものづくりを、とことんサポート!

工場・ものづくり

毎日、たくさんの電気を使う工場。電気を効率的に使えるようにして製造コストを下げたり、急な電圧の変化から生産ラインや製品を守ったり、機械を細やかにコントロールするインバータ制御を支え、品質と生産性を高めたり。シヅキの多くの商品が、ものづくりをサポートしています。

さまざまな工場で活躍する商品

精密機械や半導体、食品、くすり、紙などいろいろな分野で、ものづくりは日々進化をつづけ、工場には、その時代の最先端をいく高度な設備が、次々と導入されています。より高精度・高効率な生産が求められるなか、シヅキのコンデンサや装置の働きが、ますます求められています。

電力を効率よく使う

工場の変電・受電設備で、電力の効率改善をサポート。生産ラインの安定稼働を支え、高精細なものづくりに貢献しています。特に大量の電力を使う工場では、より電力使用効率を上げることが重要です。

高圧・低圧進相設備

高圧進相コンデンサ・リアクトル
低圧進相コンデンサ・リアクトル

インバータ用コンデンサ

品質や生産性を制御する

工場の機器を動かすモータは、インバータ制御がもう常識。たとえば、紙やフィルムをロールで巻くとき、細かい速度コントロールで品質を守りながら、省エネにも貢献しています。

生産ラインを守る

雷や雪の影響で、電圧が一瞬下がる「瞬低(瞬時電圧低下)」。このわずかな時間でも、工場の生産ラインやシステムに大きな損害が発生するリスクがあります。「瞬低」から生産ラインを守り、高速&精密なものづくりをサポート!

SAG-Backup

情報を伝える

生産数を見やすく、わかりやすく知らせる表示装置。シヅキは、LED(発光ダイオード)、LCD(液晶ディスプレイ)など、さまざまなデバイスを用い、文字表示も多言語で対応。

工場向け表示装置

アクティブフィルタ

高調波や高周波から設備を守る

電気機器から出る高調波や高周波は、さまざまな設備の誤作動や発熱、雑音を引き起こすことがあります。こうした障害の予防・改善にフィルタ装置が一役買っています。

タイ指月10周年に向けて、さらなる躍進へ

PROMOTION

タイ指月

2007年4月に操業を開始したタイ指月は、来春10周年を迎えます。バンコクのバンチャン工業団地にある工場では、約120名の従業員が働き、エアコンを主力とする白物家電と、電力インフラ向けのコンデンサを両輪に、ASEAN地域での事業拡大に取り組んでいます。2015年からは新規の冷蔵庫用コンデンサの販売も増加。白物家電全般に向けてさらなる拡販を図っています。さらに、電力インフラ分野では、外資系の設備投資が活発化しているベトナムで受注を伸ばしており、提案活動を積極的に展開。タイ指月のさらなる躍進に、ご期待ください。

西宮市 消防操法大会で女子チームが優勝

CSR

西宮市内にある事業所の自衛消防隊が、日頃の訓練成果を競う「自衛消防隊消防操法大会」。シヅキの女子チームが見事優勝、男子チームは7位の成績をおさめました。シヅキでは、消防署の方にお越しいただき、消防訓練を継続的に実施しており、万が一社内や近隣で火災が発生した場合への備えを強化しています。これからも、地域や行政の方々と連携し、安心・安全な街づくりに貢献していきたいと考えています。

卒業生の手紙 4

保安の精神で、世界中に安全と安心を。

大型モータ用保安装置付き WME-RSコンデンサ

我々、「保安装置」の付いたコンデンサは、万が一の異常時に回路からコンデンサを取り外す構造により、発火や発煙を防いでいるのであります！

今から40年ほど前、家電商品や機器の安全性が強く求められるようになった時代に誕生し、1982年には海外の安全規格も取得。我々の仲間は、タイ指月でも生産・販売され、世界の人々の安全を支えています。

WME-RSコンデンサ

村田製作所と資本業務提携

～新素材を共同開発し、事業化。共同出資による合弁会社が始動～

お互いの強みと経営資源を活かし、競争力を強化する

2016年9月、村田製作所と指月電機製作所は、資本業務提携契約を結びました。両社はこれまでも、お互いの独自性を保ちながら経営資源の結集をはかり、共同でのマーケティングや商品開発、販売に取り組んできました。

なかでも、村田製作所が誇るセラミックコンデンサ技術とシヅキが培ってきたフィルムコンデンサ技術を融合させて共同開発した新素材は、耐熱性に優れ、電気自動車をはじめ、これから大きな需要の高まりが期待されます。

この新素材の開発にあたって、両社の間では、さらなる連携の強化や付加価値の高い商品提供、高い収益性の実現に向け、事業化の検討を進めてきました。そして2016年10月、村田製作所とシヅキの共同出資による合弁会社を設立。新商品とともに生まれた新たな事業を力強く推進すべく、スタートを切りました。

合弁会社の概要

名　称	株式会社 村田指月FCソリューションズ
所在地	秋田県雄勝郡羽後町
代表者の役職・氏名	代表取締役社長　山田 芳弘
事業内容	フィルムコンデンサの開発・製造及び販売
資本金	1億円
設立年月日	平成28年10月3日

資本提携について

両社の信頼関係強化と、合弁会社による事業推進に向けて、村田製作所が指月電機製作所の保有する自己株式**3,900,000株**を自己株式処分により取得することで合意しました。これにより、村田製作所が所有する指月電機製作所の普通株式は、発行株式総数に対して**13.52%**になります。

業務提携について

村田製作所と指月電機製作所の共同出資による合弁会社を設立。セラミックコンデンサ技術とフィルムコンデンサ技術を融合した新商品の開発・製造および販売を行います。

Financial Highlights

財務ハイライト

売上高

営業利益・営業利益率

1株当たり利益(EPS)

総資産経常利益率(ROA)

純資産残高・自己資本比率

棚卸資産残高・棚卸資産回転率

Point

業績面では売上減少の影響や、過去に納めた電気二重層コンデンサの一部改修費用の計上、また、一過性の要因などもあり減収・減益となりました。
財務面では自己資本比率は**76.4%**と、さらに安定感が増しました。

Financial Statements

連結財務諸表

(注)十万円の位を切り捨てして表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第88期 第2四半期 平成27年9月30日現在	第89期 第2四半期 平成28年9月30日現在
資産の部		
流動資産	12,240	**13,100**
現金及び預金	5,925	**6,817**
受取手形・売掛金及び電子記録債権	4,642	**4,691**
棚卸資産	1,257	**1,187**
その他資産	414	**403**
有形固定資産	10,763	**10,374**
無形固定資産	35	**36**
投資その他の資産	1,956	**1,617**
資産合計	24,995	**25,129**
負債の部		
流動負債	3,793	**3,475**
固定負債	2,077	**2,249**
負債合計	5,871	**5,724**
純資産の部		
株主資本	17,595	**18,287**
資本金	5,001	**5,001**
資本剰余金	3,308	**3,308**
利益剰余金	10,528	**11,224**
自己株式	△1,243	**△1,247**
その他の包括利益累計額	1,333	**916**
非支配株主持分	194	**201**
純資産合計	19,123	**19,404**
負債純資産合計	24,995	**25,129**

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第88期 第2四半期 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで	第89期 第2四半期 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
売上高	10,338	**9,761**
売上原価	7,261	**7,133**
売上総利益	3,077	**2,628**
販売費及び一般管理費	2,159	**2,138**
営業利益	918	**489**
営業外収益	129	**202**
営業外費用	64	**117**
経常利益	983	**574**
特別利益	—	**21**
特別損失	326	**265**
税金等調整前四半期純利益	657	**330**
法人税、住民税及び事業税	241	**126**
法人税等調整額	△87	**△57**
四半期純利益	503	**261**
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	**21**
親会社株主に帰属する四半期純利益	479	**240**

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	第88期 第2四半期 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで	第89期 第2四半期 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	898	**1,159**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371	**△465**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194	**△189**
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	**△65**
現金及び現金同等物の増減額	274	**438**
現金及び現金同等物の期首残高	5,651	**6,378**
現金及び現金同等物の期末残高	5,925	**6,817**

セグメント情報

■ 部門別売上高比率（2016年9月）

コンデンサ・モジュール部門

売上高構成比率 68%

売上高
6,672百万円
前年同期比 △3.1%

営業利益
405百万円
前年同期比 △26.0%

電鉄車両用
フィルムコンデンサ

電鉄車両用フィルムコンデンサが堅調に推移しましたが、空調機器分野向けのフィルムコンデンサが減少いたしました。また、今期は過去に納めた電気二重層コンデンサの一部に発生した不具合に対する改修費用を見積計上いたしました。
厳しい状況が続いておりますが、開発・拡販を強化し受注獲得に取り組んでまいります。

電力機器システム部門

売上高構成比率 31%

売上高
2,971百万円
前年同期比 △11.2%

営業利益
796百万円
前年同期比 △26.6%

フリッカ抑制装置

電力品質改善装置については、前年同期比約1.5倍の売上増加となりました。一方、瞬時電圧低下補償装置および力率改善装置が減少いたしました。電力機器全体の売上は前年同期比で11%の減少となりました。
売上増加を目指し、引き続き、シェア拡大と販売強化を図ってまいります。

情報機器システム部門

売上高構成比率 1%

売上高
117百万円
前年同期比 +11.6%

営業利益
6百万円
前年同期比 △25.2%

今期は、鉄道向けの表示装置が堅調に推移いたしました。この状況は下期も継続する見込みです。また、バス車載用運賃表示装置およびバスロケーションシステム用表示装置については、前年同期に対し若干減少しましたが下期は回復するとみております。
今後も商品開発とラインナップ拡充を進め、販売強化に努めてまいります。

バス車載用運賃表示装置

※セグメント別の営業利益については、調整額△718 百万円があります。
（セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用）

Stock Information

株式の状況

2016年 9月30日現在

■ 株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株 主 数	3,222名

■ 所有者別株式数分布状況

■ 大株主（上位10名）

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.11
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,295	12.99
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	1,728	5.22
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	1,522	4.60
株式会社りそな銀行	1,299	3.92
株式会社みなと銀行	925	2.79
指月協友持株会	839	2.53
株式会社村田製作所	571	1.72
指月電機製作所自社株投資会	527	1.59
株式会社ノーリツ	465	1.40

■ 株価の推移(円)

中間配当金 1株当たり 5円

1.中間配当金　1株当たり5円
2.支払対象者　平成28年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3.支払開始日　平成28年 11月28日

■ 1株当たりの配当実績（単位:円）

Corporate Profile

会 社 概 要

2016年 9月30日現在

会社概要

商　　号	株式会社指月電機製作所
英 文 名 称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本 店 所 在 地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/
創 業 年 月 日	1939年 3月10日
設 立 年 月 日	1947年 9月 1日
資　本　金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,313名
主要取扱業務	■ コンデンサ及び関連機器･装置 ■ 電力機器･装置 ■ 情報機器･装置 （■ 電力機器･装置 ― ■ 情報機器･装置 ―― の製造販売）
営 業 拠 点	● 東京支社 ● 東京支店／関西支店／中部支店 ● 仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

役　員

取 締 役

取締役会会長	伊 藤　薫 *
取　締　役	友 松　哲 也 *
取　締　役	山 本　則 彦
取　締　役	増 田　幹 登 ※
取　締　役	鳥 川　光 春 ※
取　締　役	森　公 利 ※

＊は執行役を兼任　※は社外取締役

執 行 役

代表執行役社長	伊 藤　薫
専 務 執 行 役	足 達　信 章
常 務 執 行 役	友 松　哲 也
執　行　役	小 田　敦
執　行　役	藤 原　健 吾

生産子会社

社　名	資 本 金	出資比率(%)
九州指月株式会社（福岡県）	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社（秋田県）	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社（岡山県）	300,000千円	100.0

販売･生産子会社

社　名	資 本 金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社（米国 ネブラスカ州）	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0